

# ひとりごと

## 楽しみ

4月から研修生として日々業務に追われ東京で過ごすうちにはや数か月が過ぎ、街を歩けば街路樹から響き渡るセミの声、ビルの窓に反射する青空と白い雲…東京に夏がきた。

「夏の楽しみ」といえば何を思い出すだろうか。花火大会、暑気払い（ここ数年開催できてはならないが毎年の楽しみだ）、海や川での水遊びなど人それぞれ思い浮かべるものがあると思う。私もさまざまな夏の楽しみがあるが、その中の1つに夏休み期間にラジオで放送される「子ども科学電話相談室」がある。子ども達が日々素朴に感じた疑問をメールや電話で募集し、スタジオにいる数人の各分野の専門家が質問に答えるご長寿番組で聞いたことがある方もいるのではないかと思う。私自身が子どもの時は存在すら知らずにスルーしていたが、大人になり SNS のトレンドに上がっているのを見て初めて知った。それからは子どもと専門家のやりとりが非常に面白く、すっかりはまってしまった。「お茶碗のごはんよりも、おにぎりのほうが美味しいのはなぜ?」「新しい元素はどうやって作るのですか?」子どもらしい純粋で微笑ましい質問や小中学生とは思えない中々に専門的な質問が多く寄せられる。しかも、対する専門家の回答がどれもなるほど納得したり、更に調べてみよう試してみよう!と思わせたりする見事なものばかりである。

先日も出勤時間の暇つぶしに、と聞き逃し配信を聞いている時のことだった。過去に質問をした子どもにその後どうなったかを聞いてみようというコーナーがあり、数年前に「寒い日に水とお湯を置いたらお湯のほうが早く凍りました。なぜですか?」と質問した子どもが出演していた。質問後も何度か実験を繰り返し替えており、仮説をたてて試していることがよくわかる。対して専門家も観察の仕方や容器を変えることなど更に詳しくアドバイスをし、今後も実験続けてくださいと勧める。

そんなやりとりを聞いていると、何かを発見することやとことん調べたり考えたりすることの楽しさや醍醐味に改めて気づかされる。普段何気なく過ごしているが、日常の中にも疑問や発見のきっかけは多くあるのではないだろうか。それらを敏感に察知し、追及できるようにアンテナを張りながら過ごしていきたいと思う。今日もまた、昨日とはまた違う発見をし、毎日を充実させ楽しみたい。

(K.K)